

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名		ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
			有無	措置の内容	
1	水泳競技	水球・AS	2	水泳連盟で各競技あわせて5月下旬までに作成予定。基本的に昨年度と同様の方針で対応する。 別紙：昨年度の特別措置について	公益財団法人 日本水泳連盟
2	サッカー競技		1	添付ファイル参照	公益財団法人 日本サッカー協会
3	テニス競技		1	添付ファイル参照	公益財団法人 日本テニス協会
4	ボート競技		2	今後、感染状況の悪化で大会が実施できなくなった場合は添付書面の考え方に準じて選考することを求める。	公益社団法人 日本ボート協会
5	ホッケー競技		2	①過去10年間のブロック大会の決勝戦進出府県を点数化する。 1位に2点、2位に1点とし合計点数の高いチームに出場権を与える。 ②同点の場合。本大会での競技別点数の高い方に出場権を与える。 ③同点の場合。抽選をして出場権を与える。 ※ 整備完了期日は、本年6月5日実施予定の日本ホッケー協会通常総会	公益社団法人 日本ホッケー協会
6	ボクシング競技		2	現在、本連盟ではルール未整備であります。今後、ブロック委員会及び理事会にて、ルールを整備して参ります。期日につきましては、未定ではありますが、各予選に支障が出ないように、期日も併せて調整して参ります。	一般社団法人 日本ボクシング連盟
7	バレーボール競技	6人制	2	中央競技団体としてブロック代表枠選考方法のルールは定めておりません。 その理由は各ブロックの出場チームの特徴、Vリーグに所属しているチームがブロックにより異なるためです。ブロック代表チーム選出については、ブロック大会開催の幹事県（都道府県ス協・都道府県バレーボール協会）が中心となって協議（整備完了予定：7月上旬）し、各ブロックでの選考基準を定めていただきます。 ブロック大会開催は①実施する②代替大会を行う③ブロック大会が実施できない場合がありますが、ブロック大会が実施できない場合、ブロック大会幹事県バレーボール協会は、事前に「（本会で準備した）連絡項目」により本会に報告し確認を行います。 ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて、現在都道府県バレーボール協会及びブロック長と検討を進めているため、今後さらにブロック長と協議の上、（各ブロックでの）ルールを整備いたしてまいります。	公益財団法人 日本バレーボール協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名		ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
			有無	措置の内容	
8	体操競技	体操競技・新体操	3	各ブロックには出場枠が与えられており、開催できなかった場合にはあくまでブロック主体で、ブロック関係者総意の下、事前にその選考方法等を取り決め、それに従って枠数に応じたチーム及び選手を決定する。 なお、選考方法や出場を決定したチーム等については、ブロック大会の幹事体操協会より日本体操協会へ報告する。	公益財団法人 日本体操協会
9	バスケットボール競技		2	基本は都道府県やブロックの意向を尊重するようにいたします。理由は、都道府県やブロックによって事情も違い、NFとしてルールを固めると、それにより縛られてしまうためです。一方で、「丸投げだ」という批判の声もありそうですが、バスケットボール競技の場合、NFがルールを定める方がリスクが高いと判断いたしました。	公益財団法人 日本バスケットボール協会
10	ウェイトリフティング競技		2	令和3年3月末までに整備予定 協会事務局に問い合わせ	公益社団法人 日本ウェイトリフティング協会
11	ハンドボール競技		3	貴協会から提示された具体的な方法を参考に各ブロック協会にて代表を選出していただくこととしています。 団体競技にて、ブロック大会の結果（勝敗）のみで、代表選考をしていること。ブロックによって、代表数、予選実施方法などに違いがあることから、日本協会から一定の選出方法を示すことなく、各ブロックにて協議の上、選考をお願いすることとします。	公益財団法人 日本ハンドボール協会
12	ソフトテニス競技		3	1. 代替大会の同一日、同一会場開催 2. 代替大会の種別単位かつ別会場での開催 3. 少年はブロックの2021年度大会実績を適用 4. 全種別2019年度成績を適用 5. 全種別抽選も視野に入れる	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟
13	卓球競技		3	ブロック大会については特にありません。 都道府県予選会につきましては別添のように案内しております。	公益財団法人 日本卓球協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
14	軟式野球競技	2	<p>5 月中に整備完了予定である。</p> <p>未整備時に発生した場合の対応については、予定しているブロック大会の全てが7 月末から8 月に開催予定であるため、整備完了期日において問題がないと考える。</p> <p>また、整備完了予定が5 月中である理由は、各ブロック会議での決定を要する事案であり、コロナ禍において会議の開催が困難であり、ほとんどのブロックが3 月末～4 月中に実施予定であるため。</p> <p>本連盟としては、各ブロックによって出場枠数や参加チーム数、ブロック内の事情も異なるため、一律に定めることが困難と判断し、各ブロックから提案のあった代替措置に対して承認する形をとる。</p>	公益財団法人 全日本軟式野球連盟
15	馬術競技	3	<p>ブロック大会幹事県が中心となり、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会および都道府県競技団体との協議によりブロック代表枠の選考方法を決定するものとする。</p>	公益社団法人 日本馬術連盟
16	フェンシング協会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック大会の実施の可否については、ブロック大会開催県を中心に各県代表者により決定する（他県での開催可能かも検討） ・大会が開催されず代表枠を決める場合 <ul style="list-style-type: none"> 1)各代表者による話し合い 2)昨年度の成績を参考にする 3)過去5年間の成績を参考にする 4)リモートによる抽選会等を実施する ・実施方法については、ブロック大会開催県が中心となり決定する 	公益社団法人 日本フェンシング協会
17	柔道競技	3	<p>1月25日付けで貴協会から通達があり、2月8日に開催した本連盟大会事業委員会で下記のとおり対応を決定いたしました。</p> <p>ブロック大会幹事県が中心となり、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体との協議により、ブロック代表枠の選考方法を決定する。</p>	公益財団法人 全日本柔道連盟
18	ソフトボール競技	3	<p>現時点で具体的な対応策はありません。</p> <p>現在の新型コロナウイルス感染症の状況を3月末時点で一度判断し、ブロック代表枠選出方法の代替措置について、ブロックと協議する。</p>	公益財団法人 日本ソフトボール協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
19	バドミントン競技	3	今後の状況にもよりますが、開催のブロックレベルでガイドラインが異なることから、各ブロックでガイドラインを決め、不公平が生じないようにしてもらうように調整していく。	公益財団法人 日本バドミントン協会
20	弓道競技	3	令和3年1月25日付第2 回JSPO 国体発第188 号のとおり	公益財団法人 全日本弓道連盟
21	ライフル射撃競技	3	各ブロックの話し合いによる。 今後ルール化について、検討してまいります。	公益社団法人 日本ライフル射撃協会
22	剣道競技	3	発生したブロックで対応を検討する。	公益財団法人 全日本剣道連盟
23	ラグビーフットボール競技	1	別添ファイル参照	公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
24	スポーツクライミング競技	3	<ul style="list-style-type: none"> ・本協会における国体競技種目（リード、ボルダリング競技）においては、国内ランキング制度はない。 ・そのため、第65回国体（鹿児島県）予選会、ブロック大会代表選考と同様の対応を求めている。 ・JSPO国体課からの、ブロック幹事県への要望をお願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ①予選会においては、ブロック大会参加申込み締切り日の順延などの対応を図り、予選会開催を追究する。 ②本国体参加申込み締切り日までに、ブロック幹事県の理解を得ながら、ブロック大会の開催を行う。 ③本大会同様の2種目競技ではなく、ブロック連盟/協会の合意のもとでの、単種目選考による代表選出も認める。 ・以上の努力をした結果、開催が困難な場合は、選手/競技関係者に選考方法の広報の周知/徹底を図ったのち、抽選等において選考を行う。 	公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
25	カヌー競技	3	<p>予選会中止の判断は、あくまでも各都道府県協会及び各都道府県体協、ブロック大会幹事都道府県協会及び都道府県体協の判断に委ねられると考えます。</p> <p>そのうえで、中止と判断した場合、どのように都道府県代表を決定するかになりますが、これも各都道府県協会の判断に委ねられると考えます。</p> <p>「各都道府県協会の理事会等で過去の実績や選手のコンディション等を慎重に検討し、選考方法を明確にしたうえで、あくまでも公平に選考していく」というのが基本だと思います。正式に中止が確定し、選考方法が確定しましたらお知らせ下さい。確認致します。との回答をしている。</p>	公益社団法人 日本カヌー連盟
26	アーチェリー競技	3	<p>緊急事態宣言の発令下にあるかどうかなど、各ブロック・各都道府県で状況が異なるので、統一した選考方法を策定するのは困難であると考え。各ブロックにおいて状況に応じた選考方法を検討し、参加都道府県の了解が得られた選考方法であればよいと考える。</p> <p>また、基本的に、統一した選考方法のブロック大会が開催出来ないような状況下での本国体は、公平性の観点から開催するべきでないとする。</p>	公益社団法人 全日本アーチェリー連盟
27	空手道競技	2	過去の実績を基に地区協議会からの推薦で決める	公益財団法人 全日本空手道連盟
28	アイスホッケー競技	3	各ブロックの状況を鑑み、各ブロックでの対応意向に沿う。	公益財団法人 日本アイスホッケー連盟
30	なぎなた競技	3	ブロックとの話し合いを早急にすることと今年度に限り少年の試合、全県参加を希望いたします。	公益財団法人 全日本なぎなた連盟
31	ボウリング競技	3	ブロックごとに実情・状況が異なるため、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体との協議により選考方法を決定し、中央競技団体へ報告・確認を行う。	公益財団法人 全日本ボウリング協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
32	ゴルフ競技	3	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一ブロック大会が開催できなかった場合、代替措置は困難と考える。 ・ゴルフは選手3人の編成となるため、過去の成績比較は、共通の基準が無く、不可能である。 ・ゴルフ場での一般営業については、屋外でもあり、営業停止となることなく比較的な安全なスポーツとして認知されているため、現状では感染症対策を徹底すればブロック大会は実施できると考える。 	公益財団法人 日本ゴルフ協会

【質問内容】

貴団体の状況について、以下の項目に関し当てはまる番号に○を付けてください。

【回答項目】

- 1.ルールが整備されている⇒整備されている内容（規程等）
- 2.ルールを整備中である⇒整備完了予定期日と未整備時に発生した場合の対応
- 3.未整備（整備予定なし）⇒今大会に発生した場合の対応